

令和5年度京都府がんピア・サポーター養成講座(導入)

～手をとって共に行こう～

2人に1人ががんに罹患する時代、がんと向き合った経験をもつ方々の力が、今、求められています。この講座は、京都府内でがん患者支援活動に携わる人のための「学び合いの会」(裏面参照)への“入り口”としてのがんピア・サポーター養成講座です。

日時 令和5年9月13日(水)
午後6時30分から8時(受付 午後6時15分)

会場 京都経済センター4階 会議室4-A
(所在地:京都府京都市下京区函谷鉾町78番地)
<アクセス> 京都市営地下鉄烏丸線「四条駅」北改札出てすぐ

対象者 がん経験者、がん患者家族・遺族(身近な人のがんと向き合ったご経験のある方)、がんピア・サポートに関心のある方 等

定員 40名(先着順) **受講料** 無料

申込み 令和5年9月6日(水)まで 右記QRコード又は下記からお申込みください。
<https://www.shinsei.elg-front.jp/kyoto2/uketsuke/form.do?id=1685585419985>

プログラム

- ピア・サポーター概論(京都府がん患者団体等連絡協議会理事:佐野泰典・横治佳世子)
- 京都府のがん患者支援について(京都府健康対策課職員)
- がんピア・サポーター養成の取組みについて(京都府がん患者団体等連絡協議会理事:竹内香)

主催 京都府がん患者団体等連絡協議会 **共催** 京都府



受講される前に御確認ください

※受講前に「厚生労働省委託事業 がん総合相談に携わる者に対する研修事業ピア・サポーター養成テキスト」を、お読みいただくことをお勧めします。テキストは下記からダウンロードすることができます。

<https://www.peer-spt.org/document/peer-spt/>

※養成講座受講後、簡単なレポートを提出していただきます。

※当日ご都合の合わない方は、後日オンデマンド視聴での受講も可能です。

参考資料

がん総合相談に携わる者に対する研修事業 <https://www.peer-spt.org>

お問合せ先

京都府健康福祉部健康対策課がん対策係

電話:075-414-4739 メール:kentai@pref.kyoto.lg.jp



京都府がんピア・サポーター養成講座(導入)を受講した上で、がんピア・サポーターの活動を希望される方は、下記「学び合いの会」(全5回)受講を経て、活動を開始していただくこととなります。

がん患者支援活動に携わる方のための 「学び合いの会」

※この講座は受講料(全5回:5,000円)が必要となります※

第1回 患者支援活動に必要な心がまえって何だろう。

日時: 令和5年11月3日(金・祝)午後2時から4時 場所: 法輪寺(JR円町駅から徒歩約3分)
講師: 矢後綾子氏(認定NPO法人オレンジティ副理事長)

第2回 京都府のがん対策とがん患者支援の現状を知ろう。(地域活動をもっとよくするために)

日時: 令和5年12月10日(日)午後2時から4時 方法: オンライン(zoom)
講師: 竹内理氏(NPO活動支援者)
京都府健康対策課職員

第3回 患者支援活動に必要な知識って何だろう。

日時: 令和6年1月28日(日)午後2時から4時 方法: オンライン(zoom)
講師: 野田真由美氏(NPO法人支えあう会「α」副理事長)
出島恵美子氏(京都府がん総合相談支援センター相談員(保健師))

第4回 患者支援活動の行動基準を作ろう。(生きる基軸を考える)

日時: 令和6年2月25日(日)午後2時から4時 方法: オンライン(zoom)
講師: 佐藤恵子氏(京都大学医学研究科特任准教授)

第5回 私にできることは何だろう。(バウンダリーについて)(自分の体験を語る)

日時: 令和6年3月17日(日)午後2時から4時 場所: 法輪寺(JR円町駅から徒歩約3分)
講師: 倉西宏氏(京都文教大学臨床心理学部准教授)

主催 京都府がん患者団体等連絡協議会 後援 京都府

※zoomの操作はご自身でお願いします。

※各回とも事前課題と受講後のレポート提出があります。全5回受講後に、受講後の活動について個別にカンファレンスを行い、京都府がん患者団体等連絡協議会が活動をサポートします。

※後日配信での受講も可能です。ただし、出来るだけオンタイムでの受講をお願いします。

※各回とも、若干の変更が生じる可能性があることをご了承ください。

「学び合いの会」2022受講生レポートから

- 「先に歩く人生の仲間としてのロールモデルとしての役割があること。すべてあの頃の自分であること(中略)を基本姿勢として、私は関わりたいと思います。」
- 「学び合いの会を、当事者会の存続を含めいろんなことを考えながら受けさせていただいた。様々な角度から考え、他の方の経験や意見を聞くことで少しずつ見えてきたものがある。それは、決して自分が無理をしないこと、自分が誰かを助けられると思わないこと、でも、仲間が集まれる場が必要だということだ。今、自分が出来ることはこの会を続けることだと思う。本当に小さな灯に過ぎないが、そこにあることで救われている方がいると最初にここで教わったことを忘れずに。」(既に活動を開始している受講生から)

お問合せ先

京都府がん患者団体等連絡協議会 メール: harunorimi@hat.hi-ho.ne.jp